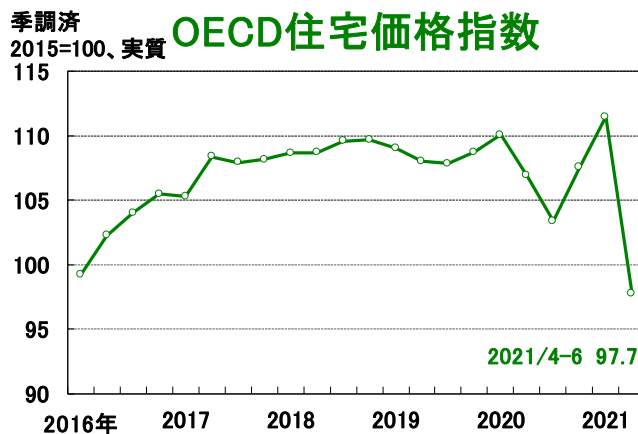
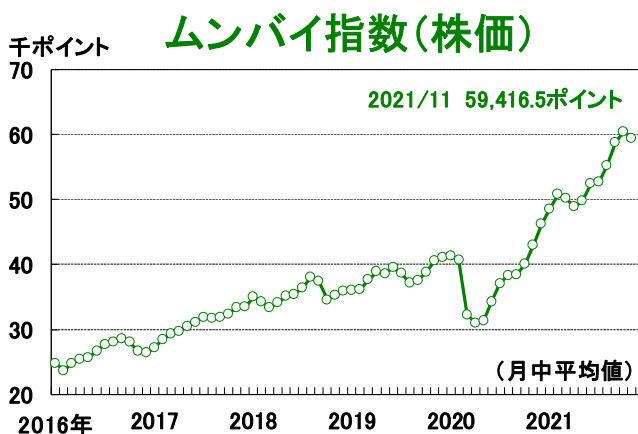
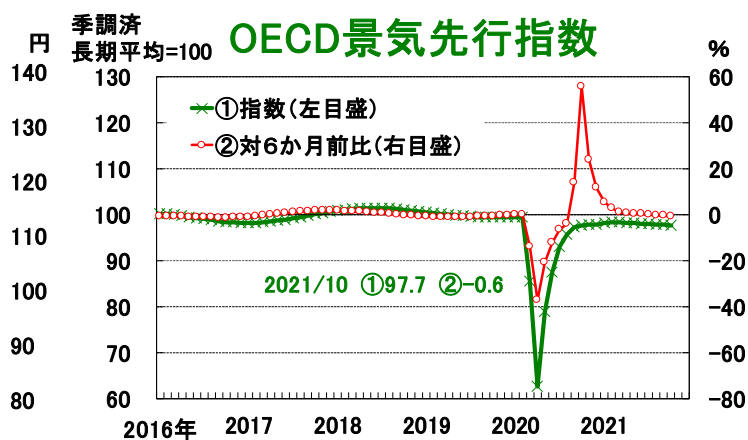
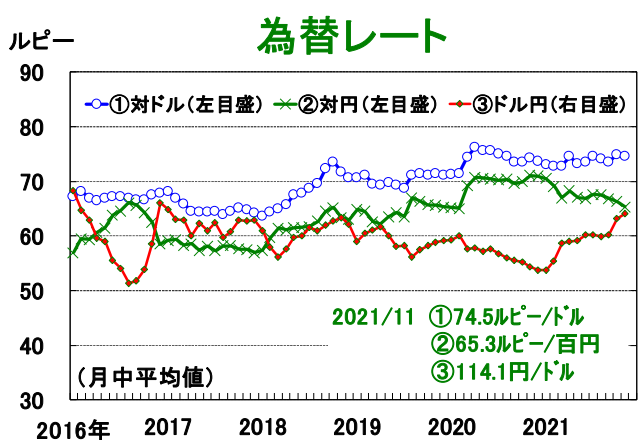
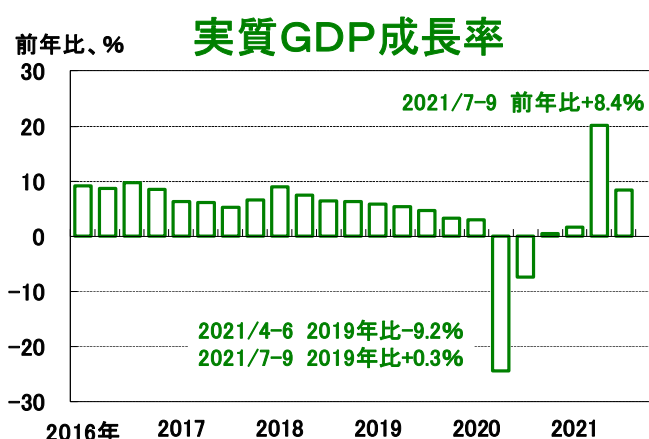
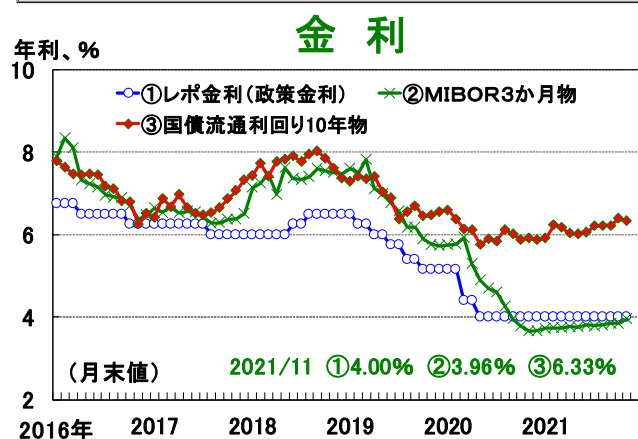
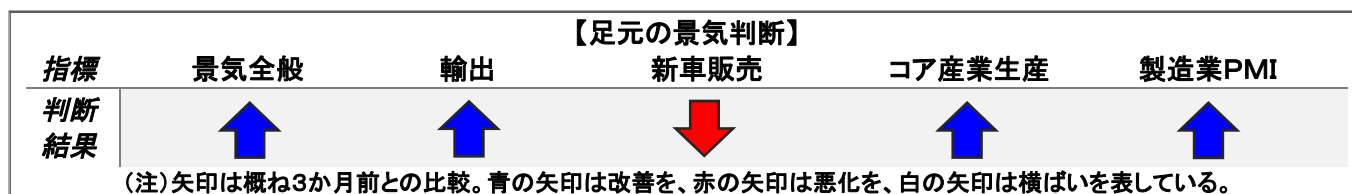


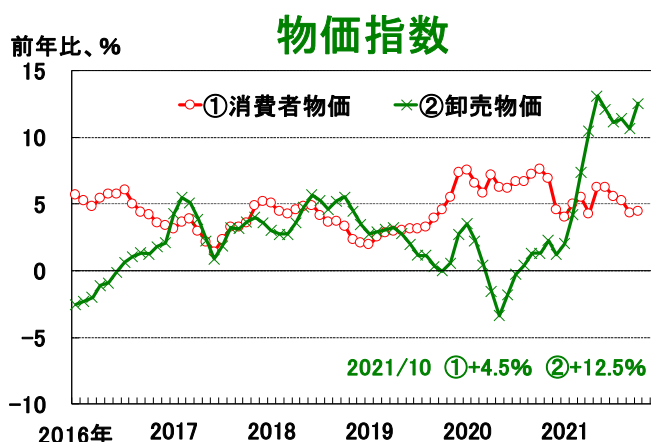
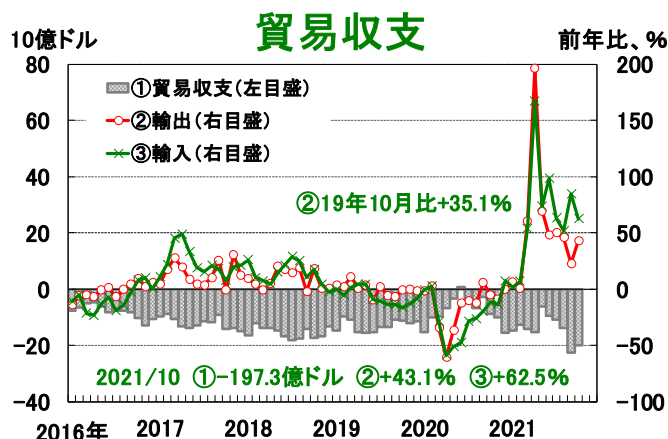
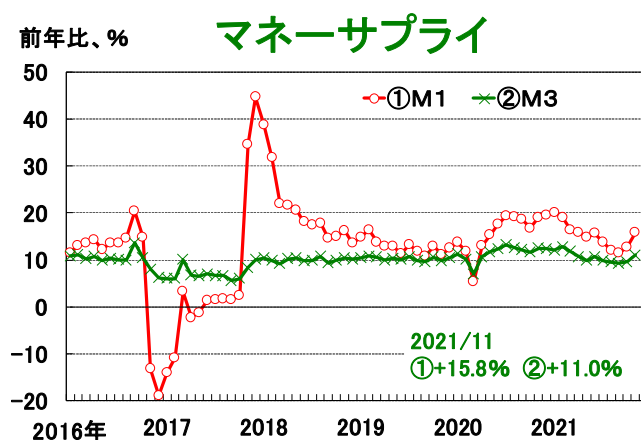
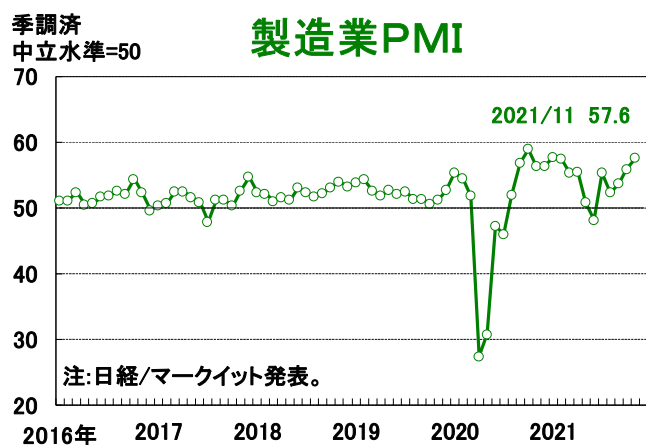
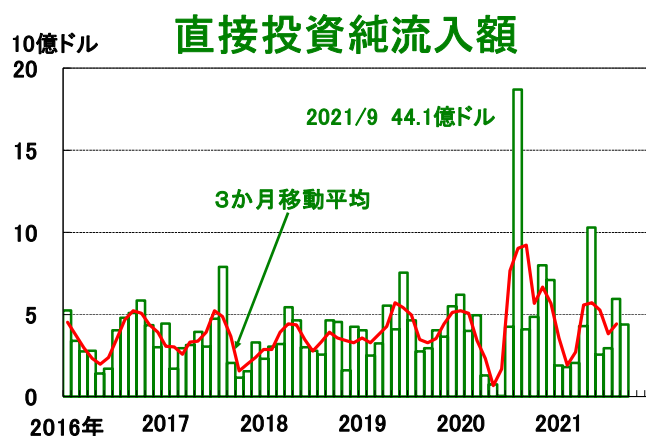
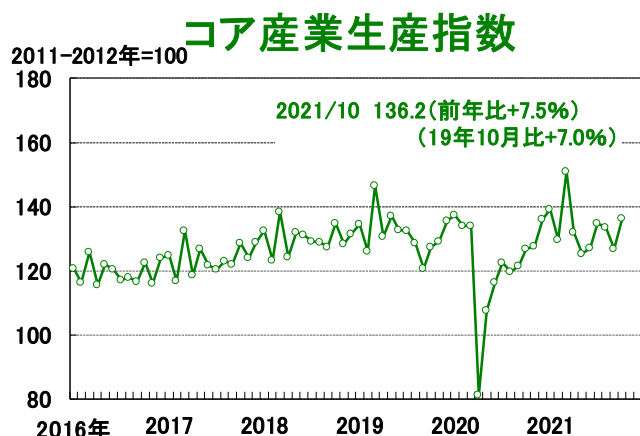
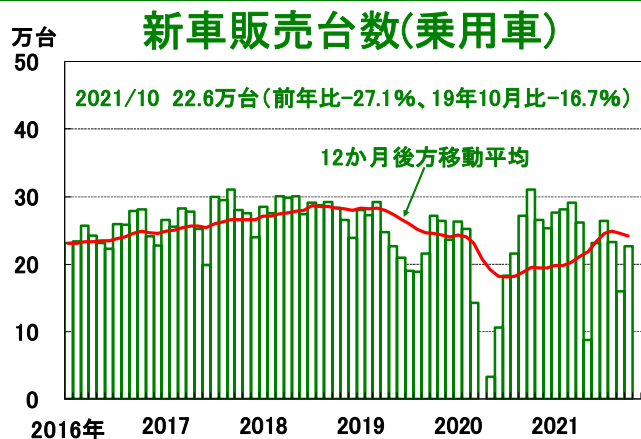
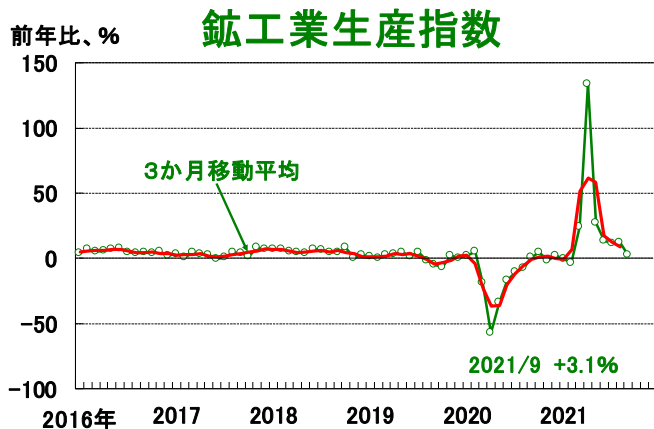
グラフで見るインド経済 2021年12月号(No. 144)

インドの2021年7～9月期の実質GDP(国内総生産)はコロナ流行前の2019年同期に比べ+0.3%(前期は同-9.2%)と増加に転じた。7～9月期には、インド国内におけるコロナの新規感染者数の減少を背景に、総固定資本形成が増加し、個人消費もマイナス幅が大きく縮小した。10月以降も景気の持ち直しが続いているとみられる。10月のコア産業生産指数は19年同月比+7.0%と3か月連続で伸びが上昇した。また製造業の景況感も足元で大きく改善している。11月の製造業PMIは57.6(中立水準は50)と10か月ぶりの高水準となった。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。